



平成29年3月期 決算説明会  
業績レビューと中期経営計画2019

タカラバイオ株式会社  
平成29年5月11日

H29/O3期業績（連結）

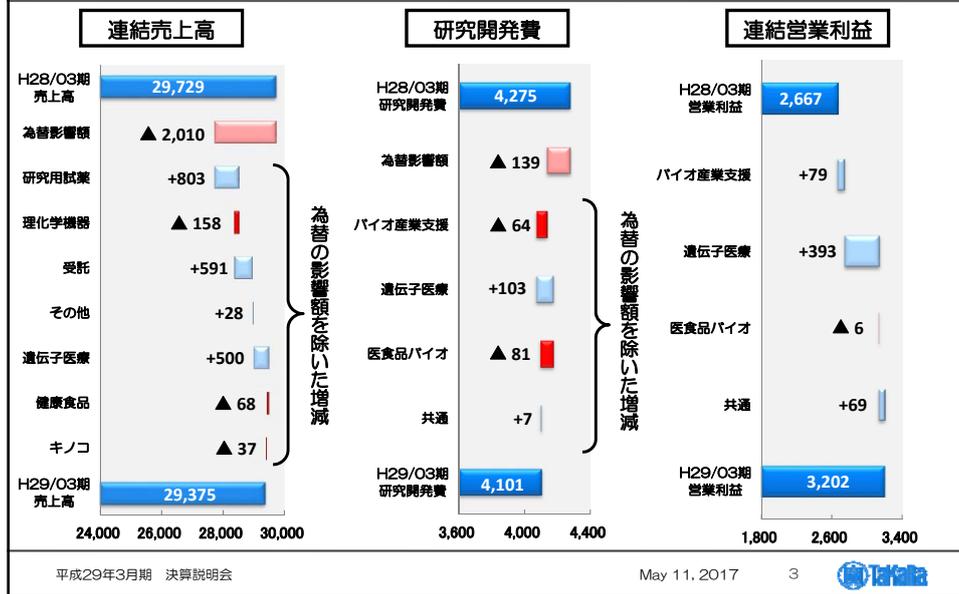
（単位：百万円）

	H29/O3期	1/30見込比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	29,375	+275	+0.9%	▲ 353	▲ 1.2%
売上原価	12,422	+342	+2.8%	▲ 983	▲ 7.3%
売上総利益	16,952	▲ 66	▲ 0.4%	+629	+3.9%
販売費及び 一般管理費	13,749	▲ 169	▲ 1.2%	+93	+0.7%
営業利益	3,202	+102	+3.3%	+535	+20.1%
経常利益	3,579	+149	+4.4%	+277	+8.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,352	+2	+0.2%	+18	+1.4%



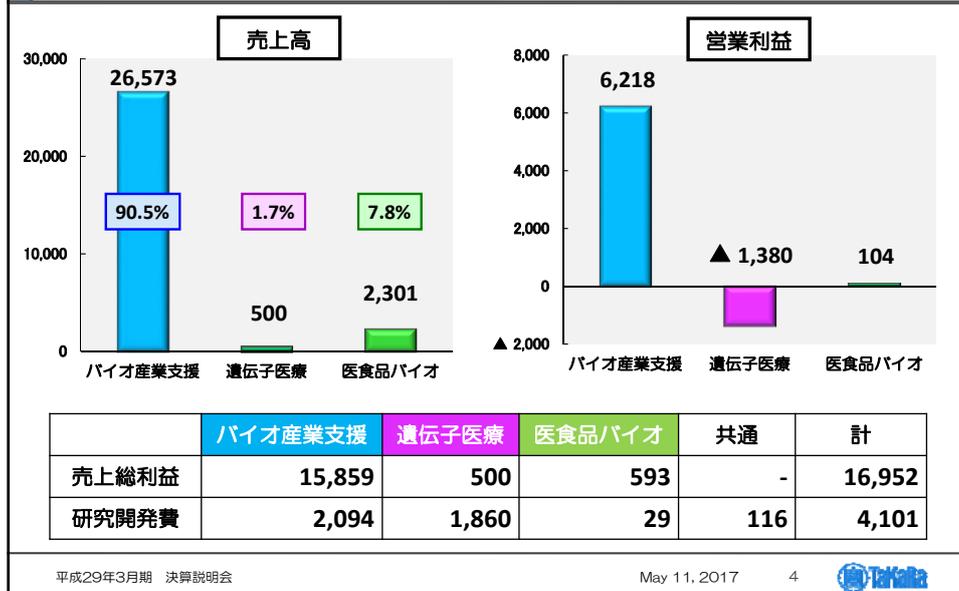
## H29/03期（連結）＜前期比増減＞

（百万円）



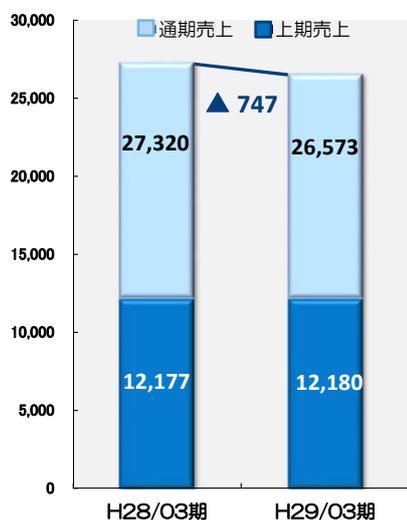
## H29/03期 事業セグメント情報（連結）

（百万円）



## バイオ産業支援事業売上高（連結）

（百万円）



平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

5



## 研究用試薬の外部売上高（連結）

海外売上高比率：71%

（百万円）

	H28/O3期	H29/O3期	前期比	為替の影響 (前期比)	前期比（為替の 影響除く）
日本	5,550	5,717	+167	-	+167
米国	6,311	6,223	▲ 88	▲ 703	+615
欧州	2,339	2,335	▲ 3	▲ 272	+268
中国	5,221	4,138	▲ 1,083	▲ 725	▲ 357
(大連)	(3,427)	(2,195)	(▲ 1,231)	(▲ 385)	(▲ 846)
(北京)	(1,794)	(1,942)	(+148)	(▲ 340)	(+489)
韓国	780	744	▲ 35	▲ 106	+70
インド	285	276	▲ 8	▲ 46	+37

平成29年3月期 決算説明会

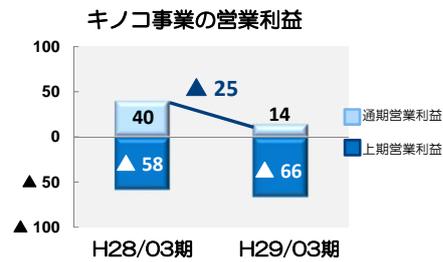
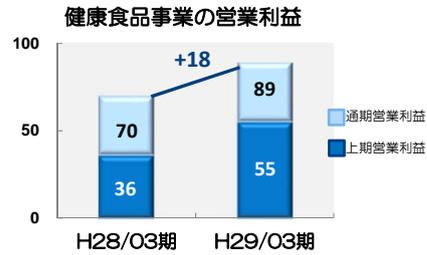
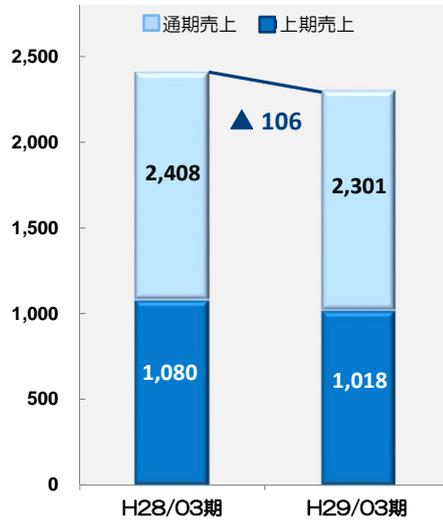
May 11, 2017

6



## 医食品バイオ事業売上高と各事業の営業利益（連結）

（百万円）



平成29年3月期 決算説明会

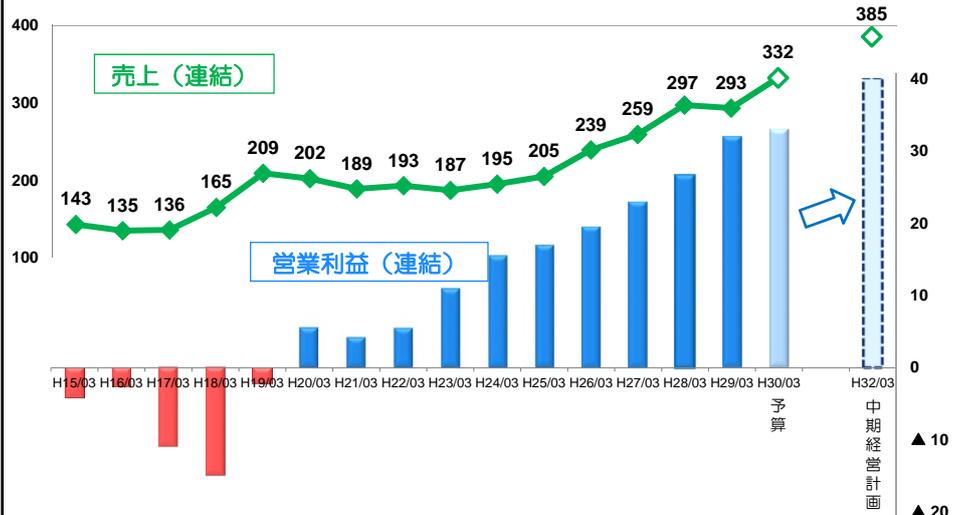
May 11, 2017

7



## 売上高・営業利益（連結）の推移

（億円）



平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

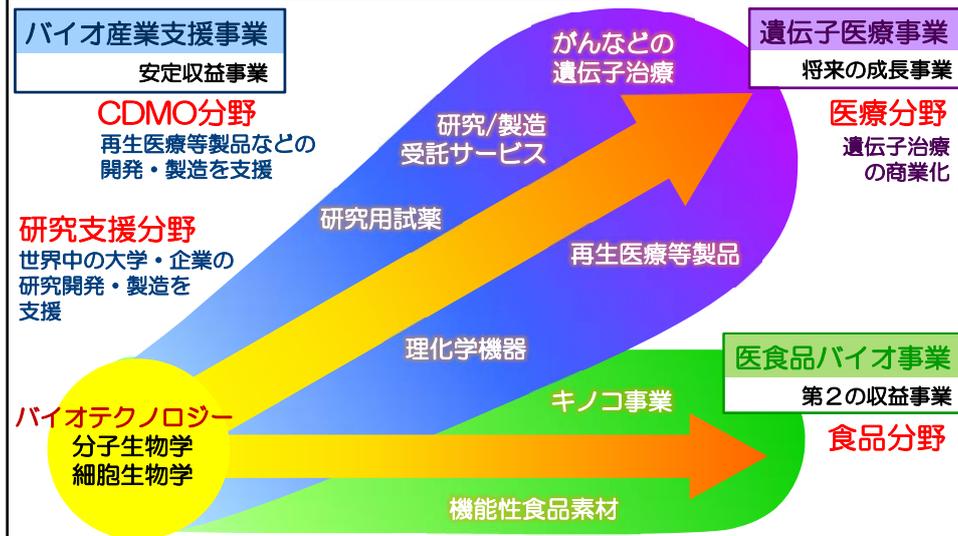
8



## 中期経営計画

- ・タカラバイオ中期経営計画2019
- ・各事業における重点施策

## タカラバイオ事業領域



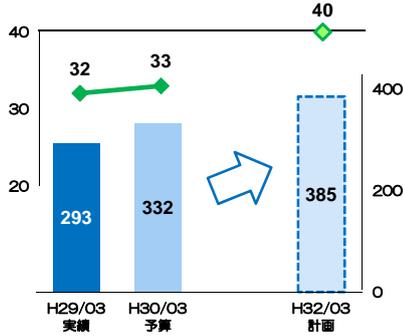
# タカラバイオ中期経営計画2019 目標

## 定量目標

平成32年3月期 タカラバイオ連結業績  
 売上高 385億円 営業利益 40億円

### 【業績推移目標】

(単位：億円)



研究開発費	H29/O3	H30/O3	H32/O3
	41	48	48

### 【事業目標】

バイオ産業支援	再生医療等製品関連 CDMO事業 No.1
遺伝子医療	遺伝子治療薬の承認取得
医食品バイオ	安定的営業黒字の継続

平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

11



## 医食品バイオ事業 中期経営計画 第2の収益事業として、安定的な営業黒字を継続

(百万円)

### 6つの機能性素材に特化した研究開発活動の推進

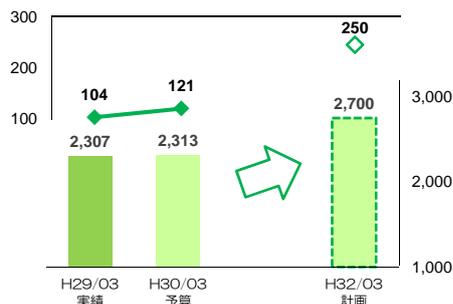
- ◆ ガゴメ昆布「フコイダン」
- ◆ ポタンポウフウ「イソサミジン」
- ◆ 明日葉「カルコン」
- ◆ 寒天「アガロオリゴ糖」
- ◆ ヤマイモ「ヤムスゲニン®」
- ◆ キノコ「テルペン」

### 宝ヘルスケア社への製品安定供給体制の構築

- ◆ 品質管理体制の強化
- ◆ 製造技術開発によるコストダウン

### キノコ製品のブランド戦略の構築

- ◆ 本しめじの「京のブランド産品」認証の活用
- ◆ 冷凍キノコの販売強化



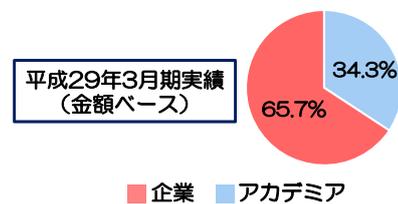
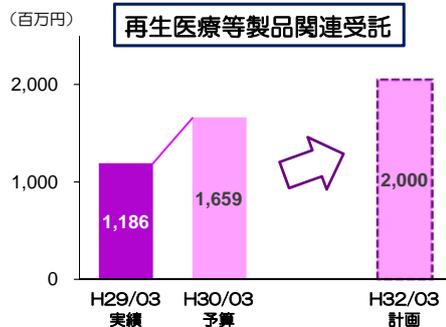
平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

12



## バイオ産業支援事業 中期経営計画① CDMO事業拡大：再生医療等製品関連受託 No.1



### ベクター製造受託

- ◆ 遺伝子・細胞プロセッシングセンター内製造施設を増設（6製造室 ⇒ 8製造室）
- ◆ ベクター製造技術・新規ベクター開発

### 細胞加工受託

- ◆ 臨床用ヒトES細胞の加工施設を設置
- ◆ ゲノム編集関連技術の開発
- ◆ 川崎市殿町地区ライフィノベーションセンター内細胞調製室の稼働

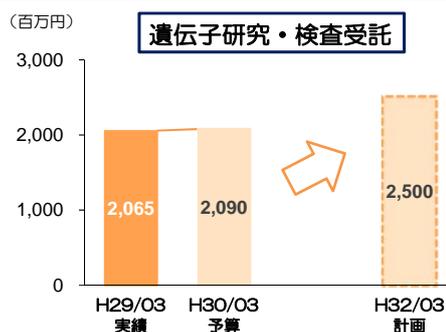
平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

13



## バイオ産業支援事業 中期経営計画② CDMO事業拡大：遺伝子解析受託 No.1



### 遺伝子研究受託

- ◆ シングルセル解析やリッドバィオアッセイをターゲットとした超微量核酸解析受託の強化

### 遺伝子検査受託

- ◆ CAP-LAPIに準拠した次世代シーケンスを用いた臨床検査サービスの拡大
- ◆ 再生医療等製品の品質試験受託の強化
- ◆ 腸内細菌叢解析などのメタゲノム解析の技術開発



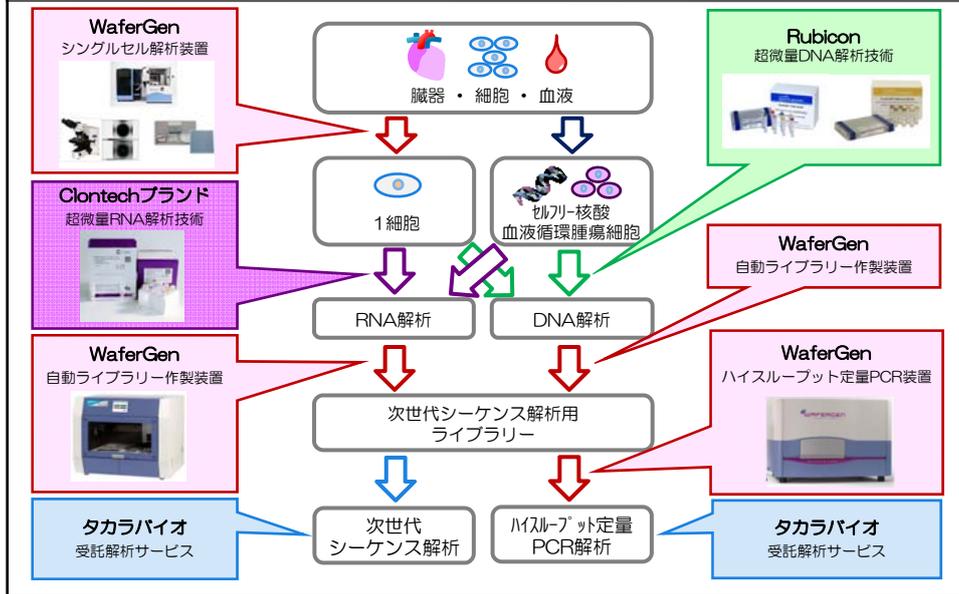
平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

14



## バイオ産業支援事業 中期経営計画③ WaferGen社・Rubicon社買収シナジーの最大化



## バイオ産業支援事業 中期経営計画④ 海外展開とグローバルR&D体制の強化



**海外売上高比率**

平成29年3月期実績：56%  
平成32年3月期計画：60%以上

**研究開発の注力分野**

- ◆ 再生医療等製品の基盤技術
- ◆ 超微量核酸分析技術
- ◆ クリニカルシーケンス分野
- ◆ Applied Field分野
- ◆ ゲノム編集関連技術

## 遺伝子医療事業 中期経営計画① HF10プロジェクトの推進（1）

The diagram illustrates the mechanism of HF10. At the top, a person is shown with a tumor (腫瘍) and a syringe labeled HF10. Below, two pathways are shown: 1) Cancer cells (がん細胞) where HF10 leads to virus replication (ウイルス増殖) and spread (ウイルスの拡散), resulting in cancer cell destruction (がん細胞の破壊/細胞溶解). 2) Normal cells (正常細胞) where HF10 does not lead to virus replication (ウイルスは複製しない), and normal cells are unaffected (正常細胞は影響を受けない).

**独自技術・体制**

- ◆ 高い安全性
- ◆ 全身性の抗腫瘍作用（非投与部位での腫瘍縮小）を確認
- ◆ カルタヘナ法の対象外
- ◆ 高品質なHF10製剤の自社製造体制を保有

**臨床開発体制**

- ◆ 米国臨床試験成果の活用（抗体医薬との併用で、有効性と安全性を確認）

平成29年3月期 決算説明会 May 11, 2017 17

## 遺伝子医療事業 中期経営計画② HF10プロジェクトの推進（2）

**開発スケジュール** **承認取得目標** 平成31年3月期

対象疾患	H29/03	H30/03	H31/03	H32/03	H33/03
悪性黒色腫		国内第Ⅱ相臨床試験 25例	○	●	市販後調査

治験届提出（平成29年1月）

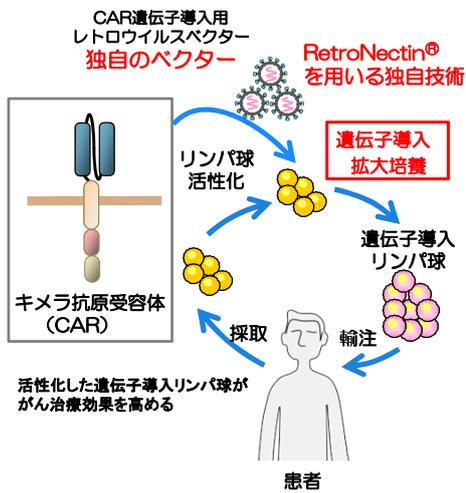
被験者への投与終了（平成29年12月予定）

米国臨床試験の成果も活用

○：承認申請  
●：承認見込

平成29年3月期 決算説明会 May 11, 2017 18

## 遺伝子医療事業 中期経営計画③ CD19・CARプロジェクトの推進（1）



### 独自技術・体制

- ◆ RetroNectin®拡大培養法
- ◆ RetroNectin®を用いた高効率遺伝子導入法
- ◆ 国内でのベクター・遺伝子導入細胞の自社製造体制を保有

### 臨床開発体制

- ◆ 産学官でのCD19・CAR遺伝子治療の安全性に関する情報交換会を開催（PMDA・治験実施施設医師・企業が参加）

平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

19

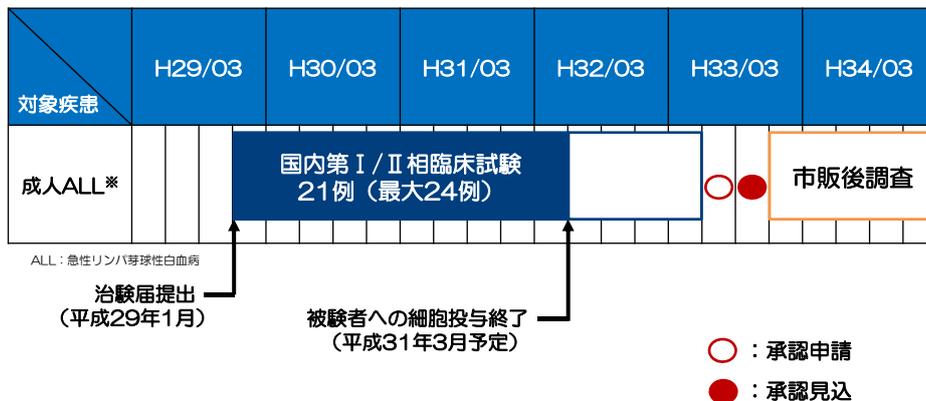


## 遺伝子医療事業 中期経営計画④ CD19・CARプロジェクトの推進（2）

### 開発スケジュール

### 承認取得目標

平成33年3月期



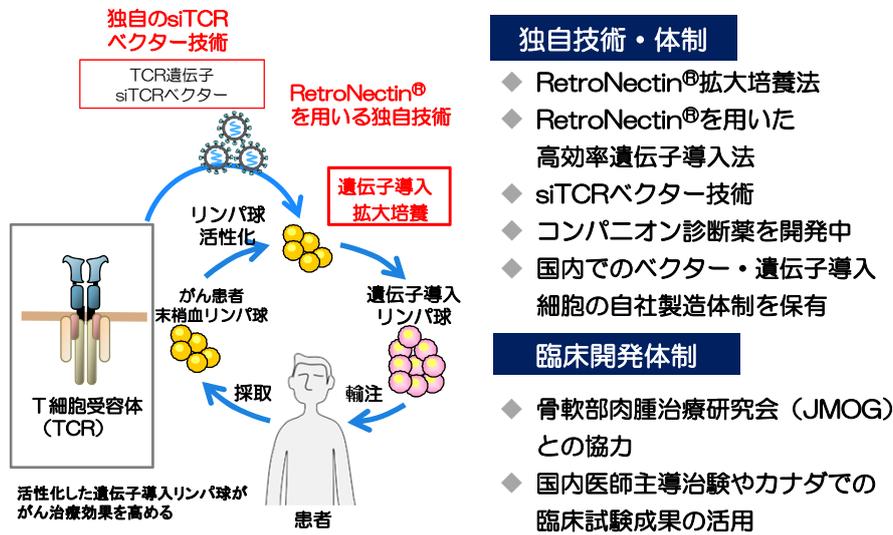
平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

20



## 遺伝子医療事業 中期経営計画⑤ NY-ESO-1・siTCRプロジェクトの推進（1）



- 独自技術・体制**
- ◆ RetroNectin®拡大培養法
  - ◆ RetroNectin®を用いた高効率遺伝子導入法
  - ◆ siTCRベクター技術
  - ◆ コンパニオン診断薬を開発中
  - ◆ 国内でのベクター・遺伝子導入細胞の自社製造体制を保有
- 臨床開発体制**
- ◆ 骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）との協力
  - ◆ 国内医師主導治験やカナダでの臨床試験成果の活用

平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

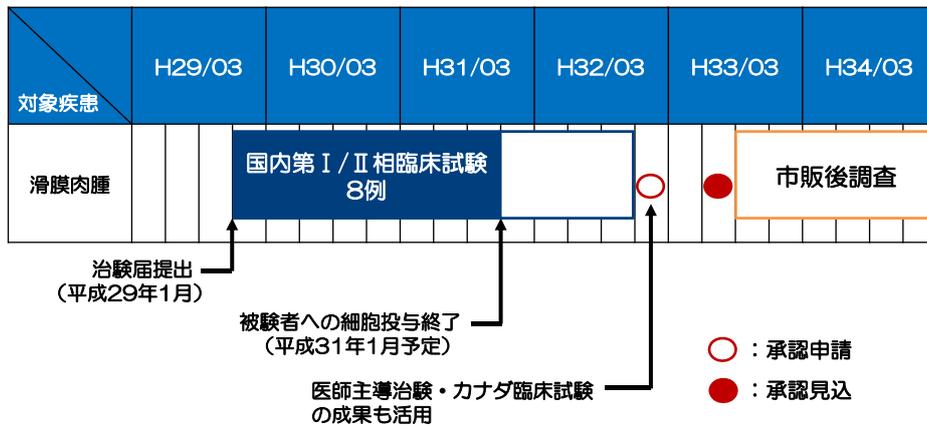
21



## 遺伝子医療事業 中期経営計画⑥ NY-ESO-1・siTCRプロジェクトの推進（2）

**開発スケジュール**

**承認取得目標** 平成33年3月期



平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

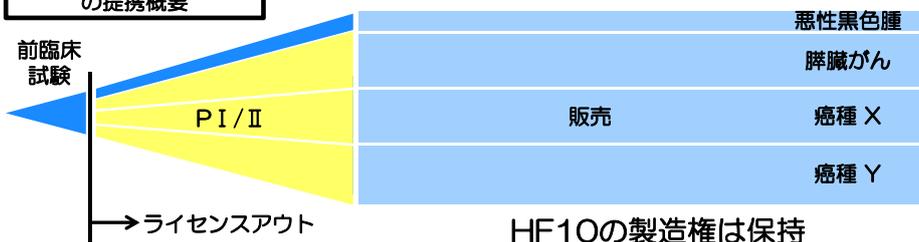
22



## 遺伝子医療事業 中期経営計画⑦ 提携プロジェクトの推進

提携プロジェクト		対象疾患	現状	提携先	
Oncolytic Virus	HF10 (TBI-1401)	日本	膵臓がん	Phase I 開始準備中	大塚製薬(株)
		米国	悪性黒色腫	Phase III 計画中	-
Engineered T cell Therapy	siTCR	日本	食道がん など	Phase I 進行中	-
		日本	食道がん など	Phase I 進行中	-
	CAR	CD19・CAR (TBI-1501)	日本	小児ALL	計画中

### HF10国内プロジェクトの提携概要



## H30/03期業績（連結）

（単位：百万円）

	H29/03期 実績	H30/03期 予算	前期比	
			増減	増減率
売上高	29,375	33,200	+3,824	+13.0%
売上原価	12,422	13,726	+1,303	+10.5%
売上総利益	16,952	19,473	+2,520	+14.9%
販売費及び 一般管理費	13,749	16,173	+2,423	+17.6%
営業利益	3,202	3,300	+97	+3.0%
経常利益	3,579	3,600	+20	+0.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,352	1,850	+497	+36.7%

## 将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問い合わせ先：広報・IR部  
E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp



## 参考資料

- H29/03期 売上高（連結）
- 会社別業績（H30/03期予算）
- 事業セグメント別業績
- 研究用試薬の外部売上高（H30/03期予算）



【参考資料】

## H29/03期 売上高（連結）

（百万円）

	H29/03期	1/30見込比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
バイオ産業支援	26,573	+348	+1.3%	▲ 747	▲ 2.7%
研究用試薬	19,436	+27	+0.1%	▲ 1,051	▲ 5.1%
理化学機器	2,911	+149	+5.4%	▲ 176	▲ 5.7%
受託	3,800	+222	+6.2%	+491	+14.8%
その他	424	▲ 51	▲ 10.8%	▲ 10	▲ 2.4%
遺伝子医療	500	-	-	+500	-
医食品バイオ	2,301	▲ 72	▲ 3.1%	▲ 106	▲ 4.4%
健康食品	842	▲ 25	▲ 3.0%	▲ 68	▲ 7.6%
キノコ	1,459	▲ 47	▲ 3.1%	▲ 37	▲ 2.5%
売上高合計	29,375	+275	+0.9%	▲ 353	▲ 1.2%

平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

27



【参考資料】

## 会社別業績（H30/03期予算）

（百万円）

	従業員数**	H29/03期実績		H30/03期予算	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益
タカラバイオ（単体）	434	19,422	229	20,378	321
瑞穂農林	26	695	16	720	22
タカラバイオファーマシーセンター	0	16	4	18	4
きのこセンター金武	8	191	8	205	14
Takara Bio Europe SAS*	36	2,330	276	2,926	320
Takara Bio Europe AB*	35	356	▲ 194	787	77
宝生物工程（大連）*	506	5,000	2,034	3,438	651
宝日医生物技術（北京）*	71	2,211	61	5,179	593
Takara Korea Biomedical*	25	835	117	879	122
DSS Takara India Pvt. Ltd.*	52	318	0	372	4
Takara Bio USA Inc.*	151	8,236	1,849	11,731	1,654
Takara Bio USA Holdings Inc.*	0	-	▲ 712	-	▲ 21

\*\* 従業員数は、平成29年3月31日現在

\* 決算期が1-12月であり、数値は各年1-12月実績

【参考資料】

## H30/03期 売上高（連結）

（百万円）

	H29/03期 実績	H30/03期 予算	前期比	
			増減	増減率
バイオ産業支援	26,573	30,386	+3,812	+14.3%
研究用試薬	19,436	22,506	+3,069	+15.8%
理化学機器	2,911	3,350	+439	+15.1%
受託	3,800	4,146	+345	+9.1%
その他	424	382	▲ 42	▲ 9.9%
遺伝子医療	500	500	-	-
医食品バイオ	2,301	2,313	+11	+0.5%
健康食品	842	731	▲ 110	▲ 13.1%
キノコ	1,459	1,581	+121	+8.3%
売上高合計	29,375	33,200	+3,824	+13.0%

平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

29



【参考資料】

## 事業セグメント別業績

（百万円）

<H29/03期 実績>	バイオ産業支援	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上高	26,573	500	2,307	▲ 5	29,375
売上総利益	15,859	500	593	-	16,952
販売費及び一般管理費	9,641	1,880	488	1,739	13,749
内、研究開発費	2,094	1,860	29	116	4,101
営業利益	6,218	▲ 1,380	104	▲ 1,739	3,202
<H30/03期 予算>	バイオ産業支援	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上高	30,386	500	2,313	-	33,200
売上総利益	18,330	500	643	-	19,473
販売費及び一般管理費	11,735	1,972	522	1,943	16,173
内、研究開発費	2,722	1,951	29	165	4,868
営業利益	6,594	▲ 1,472	121	▲ 1,943	3,300

平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

30



【参考資料】

## 研究用試薬の外部売上高（H30/O3期予算）

（百万円）

	H29/O3期 実績	H30/O3期 予算	前期比	為替の影響 (前期比)	前期比（為替の 影響除く）
日本	5,717	5,935	+218	-	+218
米国	6,223	8,077	+1,853	▲ 293	+2,146
欧州	2,335	2,799	+463	▲ 107	+571
中国	4,138	4,597	+459	▲ 255	+714
(大連)	(2,195)	-	(▲ 2,195)	-	(▲ 2,195)
(北京)	(1,942)	(4,597)	(+2,655)	(▲ 255)	(+2,910)
韓国	744	761	+16	▲ 49	+66
インド	276	334	+57	▲ 4	+61

平成29年3月期 決算説明会

May 11, 2017

31

